



HP L6010 Retail モニター

ユーザー ガイド

© 2012 Hewlett-Packard Development
Company, L.P.

Microsoft、Windows および Windows Vista
は米国またはその他の国における Microsoft
Corporation の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更される
ことがあります。HP 製品およびサービス
に対する保証は、当該製品およびサービス
に付属の保証規定に明示的に記載されてい
るものに限られます。本書のいかなる内容
も、当該保証に新たに保証を追加するもの
ではありません。本書に記載されている製
品情報は、日本国内で販売されていないも
のも含まれている場合があります。本書の
内容につきましては万全を期しております
が、本書の技術的あるいは校正上の誤り、
省略に対して責任を負いかねますので
ご了承ください。

本書には、著作権によって保護された所有
権に関する情報が掲載されています。本書
のいかなる部分も、Hewlett-Packard
Company の書面による承諾なしに複写、複
製、あるいは他言語へ翻訳することはでき
ません。

初版：2012 年 6 月

製品番号：688916-291

このガイドについて

このガイドでは、モニターの特長、モニターのセットアップ、および技術仕様について説明します。

 **警告！** その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがあるという警告事項を表します。

 **注意：** その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがあるという注意事項を表します。

 **注記：** 重要な補足情報です。

目次

1	製品の特長	1
	HP L6010 Retail モニター	1
	オプション製品（別売）	2
2	モニターの設置	3
	背面のコネクタ	3
	別売のモニター スタンドへの取り付け	4
	別売のモニター スタンドの低い取り付け位置への取り付け	4
	別売のモニター スタンドの高い取り付け位置への取り付け	8
	別売のモニター スタンドの調整	13
	壁面などへのモニターの取り付け	13
	ケーブルの接続	14
	ロック ケーブルの取り付け	19
	製品ラベルの位置	19
3	モニターの操作	20
	前面の各部	20
	電源管理システム	21
	OSD ロック/ロック解除	22
	電源ボタンのロック/ロック解除	22
4	詳しい情報の参照場所	23
5	技術仕様	24
	HP L6010 Retail モニター	24
	プリセット ディスプレイ解像度について	25
	HP L6010 Retail モニター	25
	ユーザー モードの使用	26
	エナジー セーブ機能	26

1 製品の特長

HP L6010 Retail モニター

液晶ディスプレイ（LCD）では、アクティブ マトリクス方式の薄膜トランジスタ（TFT）パネルを採用しています。このモニターの特長は以下のとおりです。

- 1024×768 以下の解像度をフル サポートする、表示領域 10.4 インチ（対角長 26.4 cm）のディスプレイ。オリジナルの縦横比を保ったまま、最大のサイズまで自由にイメージを拡大することも可能です。
- 鮮明で、消費電力の少ない WLED バックライトを採用した産業用 LCD パネル
- 1 つの USB 外部コネクタを備えた USB 2.0 ハブ
- VESA 準拠の 75 mm 間隔の取り付け穴のサポート
- VGA アナログ信号、DisplayPort デジタル信号、および DVI デジタル信号によるビデオ入力のサポート
- オーディオ入力コネクタおよび内蔵 1 ワット スピーカー
- モニターを机などの固定物につなげて固定できるようにするセキュリティ機能
- プラグ アンド プレイ機能（システムでサポートされる場合）
- DVI および DisplayPort 入力での HDCP（High-Bandwidth Digital Content Protection）によるコピー防止機能
- 設定を簡単にし、画面の最適化を可能にする、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）による画面調節機能（複数の言語に対応）
- ドライバー ソフトウェアおよび製品の説明書を収録している『Software and Documentation CD』（ソフトウェアおよびドキュメンテーション CD）
- 国際エネルギー スター® プログラムに準拠（この他の規定および注意事項については、この製品に付属の CD に収録されている『HP LCD モニター リファレンス ガイド』を参照してください）。

オプション製品（別売）

以下のオプション製品は HP から別途購入できます。

- スタンド（2つの位置に調節可能）
- ケーブル ロック

2 モニターの設置

モニターを設置するには、モニター、コンピューター システム、およびコンピューターに接続されているその他の装置の電源がオフになっていることを確認してから、以下の操作を行います。

背面のコネクタ

図 2-1 背面のコネクタ

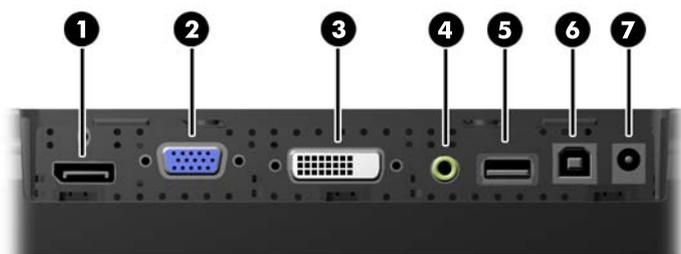


表 2-1 背面のコネクタ

コネクタ	機能
1 DisplayPort	コンピューターの DisplayPort ビデオ ケーブルをモニターに接続します
2 VGA	コンピューターの VGA ビデオ ケーブルをモニターに接続します
3 DVI	コンピューターの DVI ビデオ ケーブルをモニターに接続します
4 オーディオ入力	コンピューターのオーディオ ケーブルをモニターに接続します
5 USB ダウンストリーム	外付け USB デバイスをモニターに接続します
6 USB アップストリーム	コンピューターの USB ケーブルをモニターに接続します (USB ダウンストリーム機能に必要)
7 DC 電源	外部電源アダプターをモニターに接続します

別売のモニター スタンドへの取り付け

HP では、モニター スタンドをオプションで提供しています（別売）。このスタンドは、モニター パネルの背面にある VESA 準拠の 75 mm 間隔の取り付け穴を使用して取り付けられます。

モニターは、低い位置でも高い位置でもスタンドに取り付けることができます。スタンドを取り付ける前に、お使いの構成に適した位置を決定してください。

図 2-2 低い位置および高位置でのモニター スタンドとの組み合わせ



 **注記：** モニター スタンドは低い取り付け位置用の構成で出荷されています。

別売のモニター スタンドの低い取り付け位置への取り付け

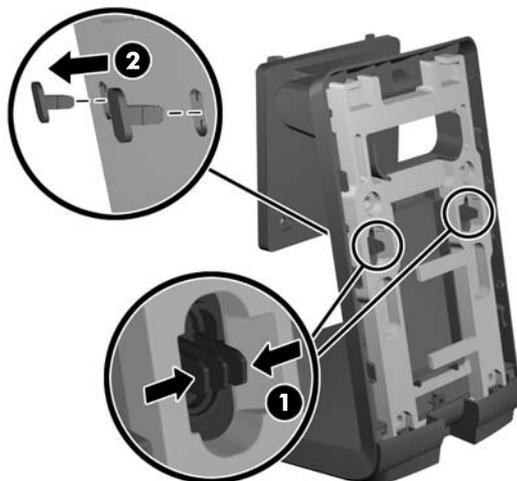
1. モニター スタンドの背面カバーの下部にある 2 つの圧点を押し (1)、カバーを上スライドさせてから (2)、スタンドから取り外します (3)。

図 2-3 背面カバーの取り外し



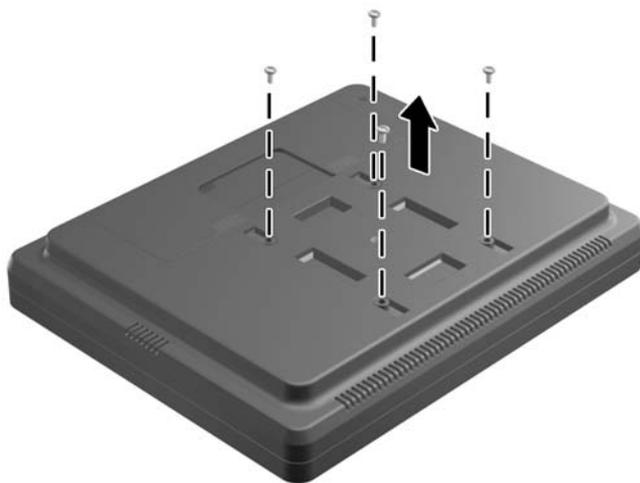
2. ネジを取り付けられるようにするために、スタンド中央にある2つのプラグを、裏側のタブをはさむようにつまみ (1)、スタンドの表側から引き出して (2) 取り外します。

図 2-4 プラグの取り外し



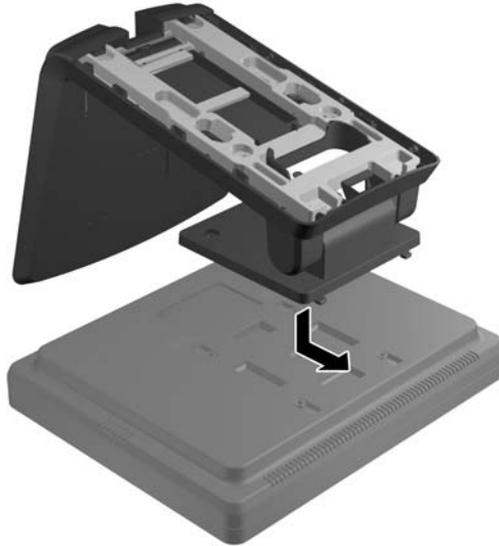
3. モニターの前面を下向きにして、清潔な乾いた布を敷いた安定した平らな場所に置き、モニター背面から4つのプラスの取り付けネジを取り外します。

図 2-5 取り付けネジの取り外し



4. スタンドの取り付けブラケットのフックをモニター背面のスロットに差し込み、フックがスロット内部に固定されるまでスタンドをモニター上部に向かってスライドさせます。

図 2-6 スタンドの取り付け



5. 取り付けブラケットをモニターに固定するために、2つのプラスのネジを取り付けます。手順2で取り外したプラグの穴を通してモニター背面まで届くプラスのネジ回しを使用してください。

図 2-7 スタンドの固定



6. モニターを直立させた状態で、手順 2 で取り外したプラグをスタンドに取り付けなおします。

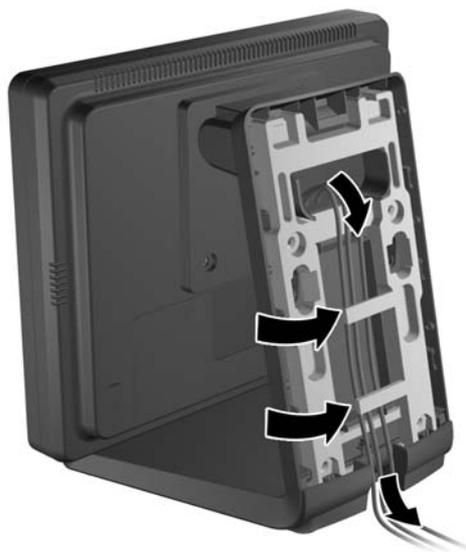
図 2-8 プラグの取り付けなおし



7. ケーブルが、スタンド上部のスペースから出て、ケーブルを押さえておくためのブラケットの内側を通り、スタンド下部のスペースから出るように配線します。

 **注記：** ケーブル接続について詳しくは、[14 ページの「ケーブルの接続」](#)を参照してください。

図 2-9 ケーブルの配線



8. スタンドの背面カバーを、上部がスタンド上部から少しはみ出るような場所に合わせてから (1)、正しい位置にロックされるまで下にスライドさせて (2) 取り付けます。

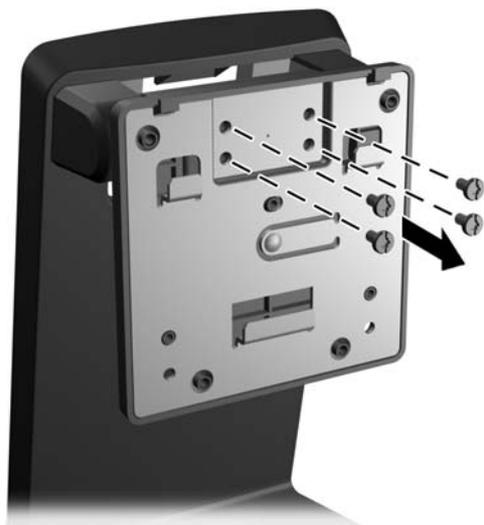
図 2-10 背面カバーの取り付け



別売のモニター スタンドの高い取り付け位置への取り付け

1. 取り付けブラケットをスタンドに取り付けている4つのプラスのネジを取り外してブラケットを外します。

図 2-11 取り付けブラケットの取り外し



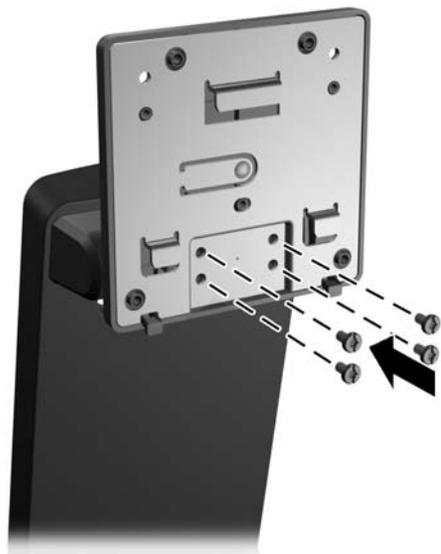
2. 取り付けブラケットを 180°回転させます。

図 2-12 取り付けブラケットを 180°回転させる



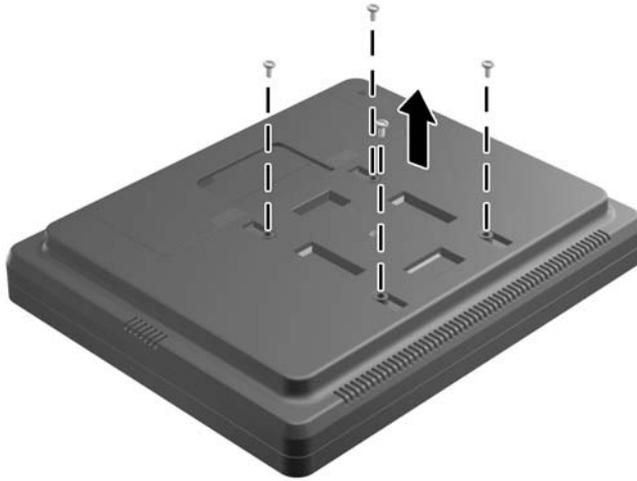
3. 手順 1 で取り外した 4 つのプラスのネジを取り付けなおして、ブラケットをスタンドに固定します。

図 2-13 取り付けブラケットの取り付け



4. モニターの前面を下向きにして、清潔な乾いた布を敷いた安定した平らな場所に置き、モニター背面から4つのプラスの取り付けネジを取り外します。

図 2-14 取り付けネジの取り外し



5. スタンドの取り付けブラケットのフックをモニター背面のスロットに差し込み、フックがスロット内部に固定されるまでスタンドをモニター下部に向かってスライドさせます。

図 2-15 スタンドの取り付け



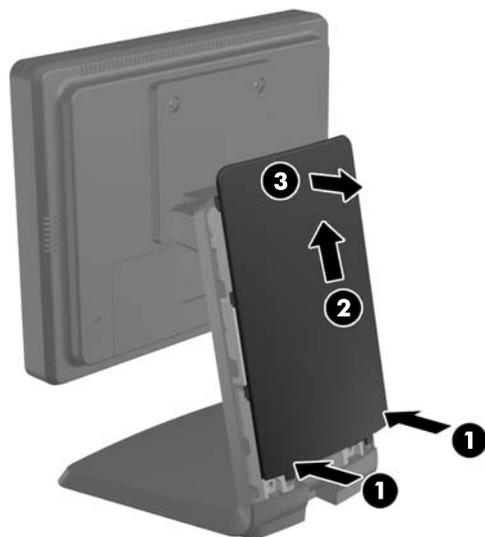
6. 取り付けブラケットをモニターに固定するために、2つのプラスのネジを取り付けます。

図 2-16 取り付けブラケットの固定



7. モニターおよびスタンドを直立させた状態で、モニター スタンドの背面カバーの下部にある2つの圧点を押し (1)、カバーを上へスライドさせてから (2)、スタンドから取り外します (3)。

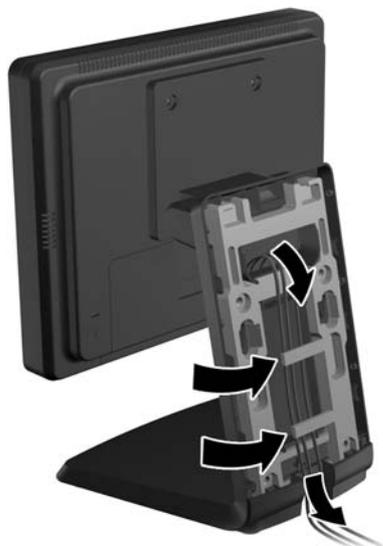
図 2-17 背面カバーの取り外し



- ケーブルが、スタンド上部のスペースから出て、ケーブルを押さえておくためのブラケットの内側を通り、スタンド下部のスペースから出るように配線します。

 **注記：** ケーブル接続について詳しくは、[14 ページの「ケーブルの接続」](#)を参照してください。

図 2-18 ケーブルの配線



- スタンドの背面カバーを、上部がスタンド上部から少しはみ出るような場所に合わせてから (1)、正しい位置にロックされるまで下にスライドさせて (2) 取り付けます。

図 2-19 背面カバーの取り付け



別売のモニター スタンドの調整

画面を見やすくするには、モニターを前方（最大-5°）または後方（最大 35°）に傾けて調整します。

図 2-20 傾斜角度の調整



壁面などへのモニターの取り付け

モニター パネルは、壁、スイング アーム、またはその他の固定器具に取り付けることができます。

 **注記：** この装置は、UL または CSA 規格に準拠した取り付け器具で支えられるように設計されています。

1. モニター背面にある VESA 基準の取り付け穴から 4 つのネジを取り外します。

 **注意：** このモニターは、VESA 準拠の 75 mm 間隔の取り付け穴をサポートします。このモニターに他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチのネジ穴が 4 個ある器具で、長さ 10 mm のネジを使用する必要があります。これより長いネジは、モニターを損傷するおそれがありますので使用しないでください。また、取り付ける固定器具が VESA 基準に準拠していることと、モニター本体の質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、モニターに付属の電源コードおよびビデオ ケーブルを使用してください。

2. モニターを固定器具に取り付けるには、前に取り外した 4 つのネジを、固定器具にある穴に通してからモニターのネジ穴に差し込みます。詳しい組み立て手順については、固定器具に付属の製造元の説明書を参照してください。
3. 必要なケーブルをモニター パネルとコンピューターに接続します。

ケーブルの接続

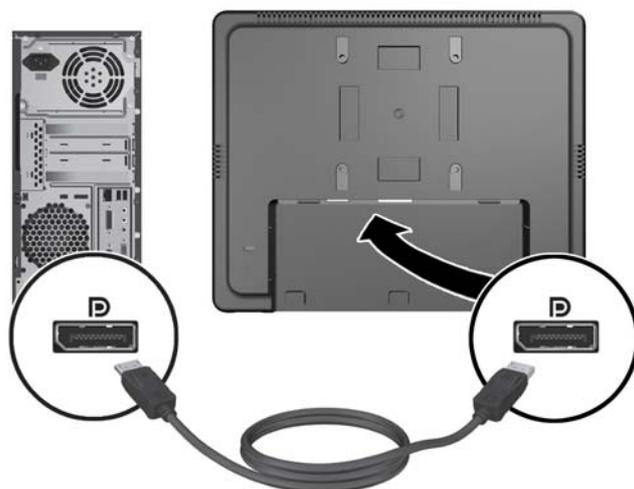
 **注記：** モニターが別売のスタンドに取り付けられている場合は、4 ページの「別売のモニター スタンドの低い取り付け位置への取り付け」または8 ページの「別売のモニター スタンドの高い取り付け位置への取り付け」の手順に従ってスタンド内にケーブルを配線してください。

1. モニターを、コンピューターの近くの、作業がしやすく通気の良い場所に置きます。
2. モニター背面にあるケーブル接続カバー上部の模様が付いている 2 つの場所を押し (1)、カバーを下に垂直に引き下げてモニターから外します (2)。

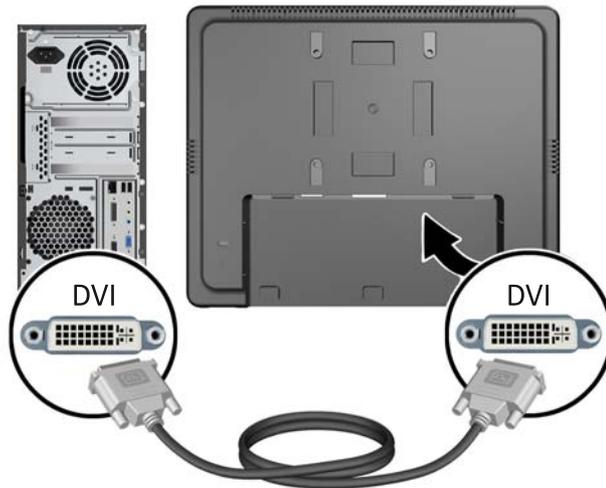
図 2-21 ケーブル接続カバーの取り外し



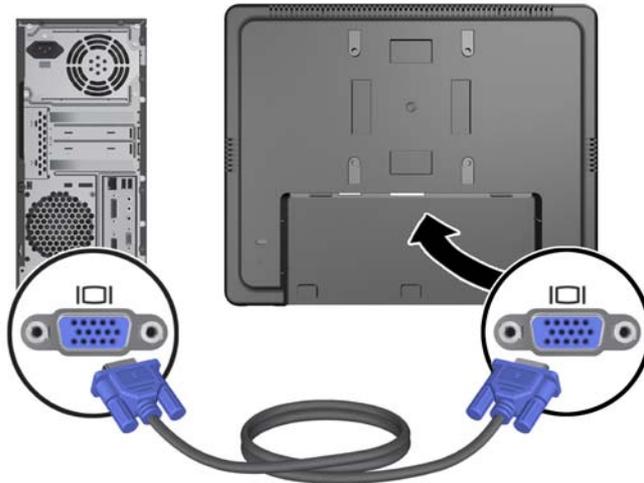
3. 構成に応じて、DisplayPort、DVI、または VGA のいずれかのビデオ ケーブルでコンピューターとモニターを接続します。
 -  図 2-22 DisplayPort ビデオ ケーブルの接続



- **図 2-23** DVI ビデオ ケーブルの接続



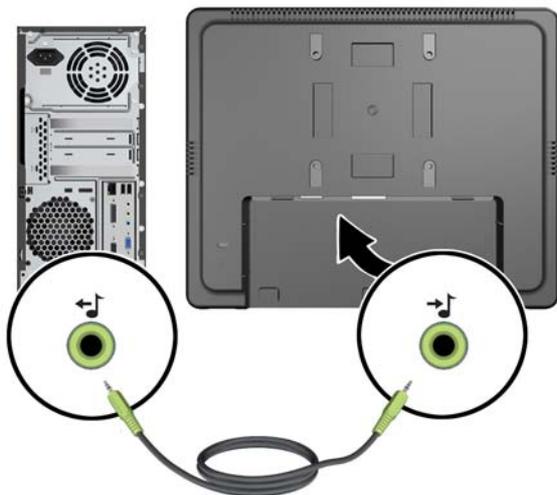
- **図 2-24** VGA ビデオ ケーブルの接続



- オーディオ ケーブルをコンピューターのオーディオ出力コネクタおよびモニターのオーディオ入力コネクタに接続します。

 **注記：** モニターのスピーカーを使用するには、オーディオ ケーブルで接続する必要があります。

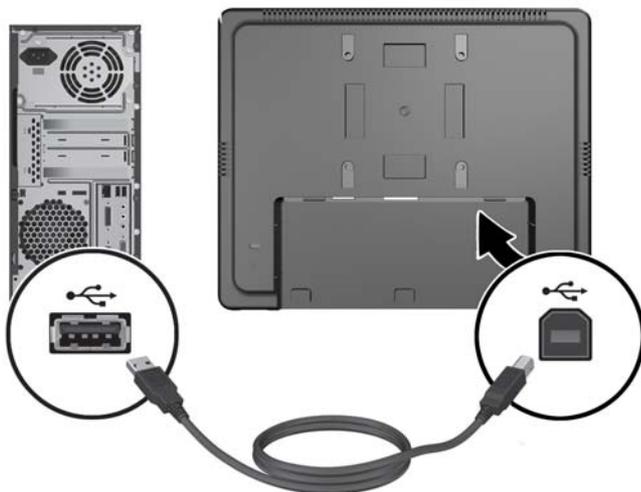
図 2-25 オーディオ ケーブルの接続



- USB アップストリーム ケーブルをコンピューターおよびモニターに接続します。

 **注記：** USB ダウンストリーム コネクタを使用するには、USB ケーブルで接続する必要があります。

図 2-26 USB ケーブルの接続

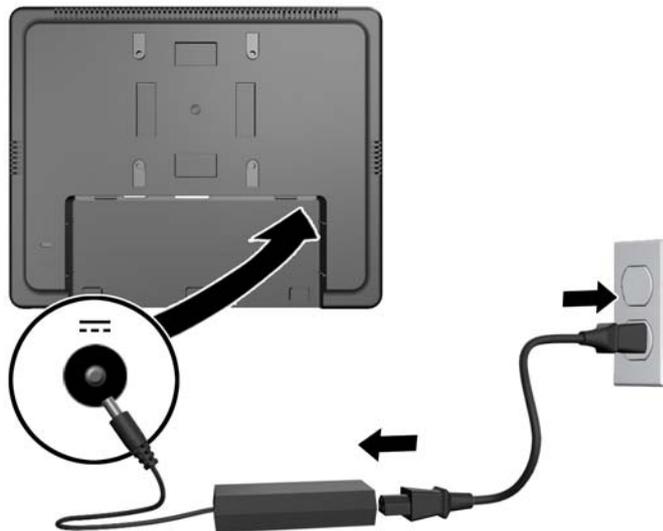


6. DC ケーブルをモニターに接続して、外部電源コードを電源コンセントに接続します。

警告！ UL.CSA 規格取得済みの、製品に付属の電源アダプター（12V DC の出力）でのみ使用可能です（電源アダプター搭載のモニターのみ）。日本国内で使用する場合は、製品に付属の電源ケーブルおよび電源アダプターのみを使用してください。

製造元：TPV ELECTRONICS(FUJIAN) CO., LTD model ADPC1236-

図 2-27 電源コードの接続（電源コードのコネクタの形状は国や地域によって異なる場合があります）



警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。

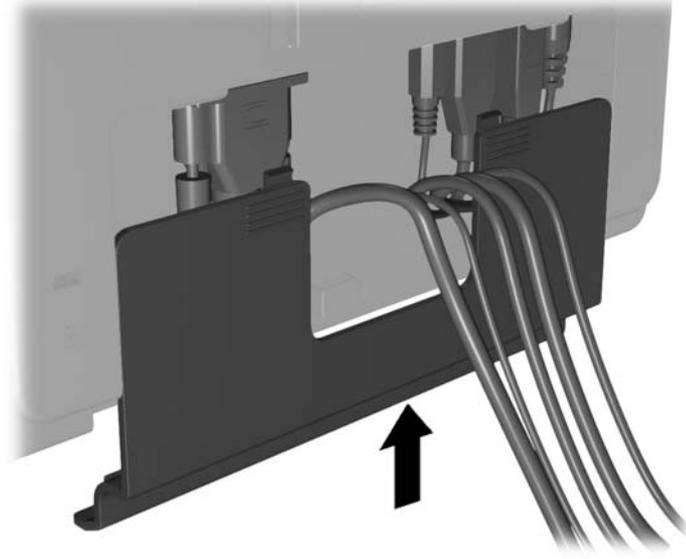
電源コードは、装置の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに接続してください。

モニターへの外部電源の供給を遮断するには、電源コードを電源コンセントから抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っ張らないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

7. モニターの背面にあるケーブル接続カバーを取り付けなおします。

図 2-28 ケーブル接続カバーの取り付けなおし



8. コンピューターの電源を入れ、モニターの底部にある電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。

図 2-29 電源ボタンを押す



ロック ケーブルの取り付け

別売のロック ケーブルを使用して、モニターを固定物に固定できます。

図 2-30 ロック ケーブルの取り付け



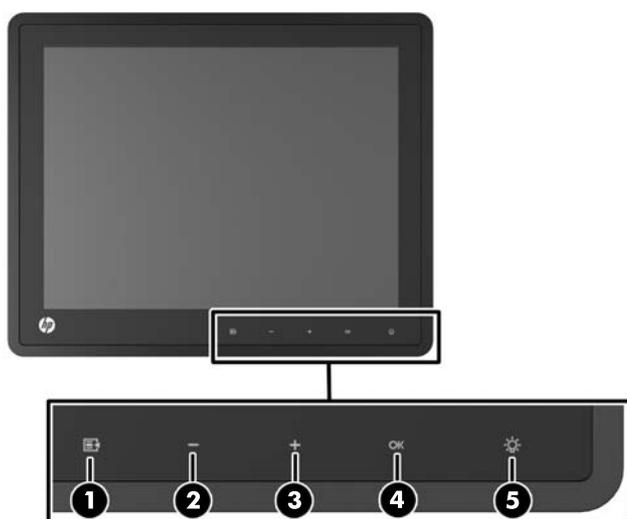
製品ラベルの位置

モニターの製品ラベルには交換部品番号、製品番号、およびシリアル番号が記載されています。お使いのモデルのモニターについて HP にお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。製品ラベルはモニター本体の背面パネルにあります。

3 モニターの操作

前面の各部

図 3-1 モニターの前面の各部



注記： 前面の各コントロールは、点灯していないときは無効になっています。各コントロールを有効にするには、アイコンがある領域をタップします。すべてのアイコンが点灯し、有効になります。オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニュー終了時や OSD がタイムアウトしたときにアイコンのバックライトがオフになります。

表 3-1 モニターの前面の各部

コントロールの名称	機能
1 	メニュー オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メイン メニューを開きます
2 	- (マイナス) OSD メニューが表示されているときにタップすると、メニューの項目間を逆方向に移動したり調整レベルを下げたりできます OSD メニューが無効になっていてアイコンが点灯しているときにタップすると、OSD 音量調整メニューが開いて音量レベルを調整できます
3 	+ (プラス) OSD メニューが表示されているときにタップすると、メニューの項目間を順方向に移動したり調整レベルを上げたりできます OSD メニューが無効になっていてアイコンが点灯しているときにタップすると、ソース ボタンが有効になってビデオ信号入力を選択できます

表 3-1 モニターの前面の各部 (続き)

コントロールの名称	機能
4 OK	<p>OK (決定) OSD メニューが表示されているときにタップすると、メニュー項目を選択できます</p> <p>OSD メニューが無効になっていてアイコンが点灯しているときにタップすると、自動調整機能が有効になり画面表示を最適化できます</p>
5 	<p>電源ランプ</p> <p>緑色に点灯：電源が入っている状態</p> <p>オレンジ色に点灯：スリープ モード</p> <p>オレンジ色で点滅：スリープ タイマー モード</p> <p>消灯：電源がオフになっているか、OSD でランプがオフになるように設定されています</p>

 **注記：** HP Customer Self Repair Services Media Library (<http://www.hp.com/go/sml/>、英語サイト) から、OSD メニューのシミュレーションを見ることもできます。お使いのモニターのモデルを選択し、[On Screen Display (OSD) simulator]を選択してください。

電源管理システム

モニターは、使用していないときに消費電力を自動的に抑える電源管理機能を備えています。

表 3-2 電源の管理

モード	消費電力
最大電力	18 W
通常電力	11 W
スリープ	1 W
オフ	0.5 W

長時間モニターを使用しないときは、モニターの電源をオフにすることをおすすめします。

 **注記：** モニターがアイドル状態になると、自動的に電源管理システムが動作します。モニターの電源管理システムを解除するには、キーボードの任意のキーを押すか、マウスを動かします。

OSD ロック/ロック解除

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) 機能をロックしたりロック解除したりできます。モニターは、OSD メニューのロックが解除された状態で出荷されます。

OSD メニューをロックして OSD コントロールを無効にするには、OSD アイコンがある領域をタップしてアイコンを点灯させて有効にし、メニュー アイコンを 10 秒程度押し続けます。OSD メニューのロックを解除して OSD コントロールを有効にするには、メニュー アイコンを再び 10 秒程度押し続けます。

電源ボタンのロック/ロック解除

電源ボタンをロックしたりロック解除したりできます。モニターは、電源ボタンのロックが解除された状態で出荷されます。

電源ボタンをロックするには、電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。電源ボタンのロックを解除するには、電源ボタンを再び 10 秒程度押し続けます。電源ボタンのロックを解除すると、モニターの電源がオフになります。モニターの電源を再び入れるには、電源ボタンを押します。

4 詳しい情報の参照場所

以下について詳しくは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/support/> から『HP LCD モニター リファレンス ガイド』を参照してください。

- モニター パフォーマンスの最適化
- 安全および保守に関するガイドライン
- 規定および環境に関するご注意
- オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの使用
- PC モード用の追加ソフトウェアの Web からのダウンロード

モニターの使用および調整について詳しくは、<http://www.hp.com/support/> にアクセスしてください。国または地域を選択し、[製品サポート 保守情報]を選択してから、お使いのモニターのモデルを検索フィールドに入力します。

 **注記：** モニターの操作説明書、リファレンス ガイド、およびドライバーは、<http://www.hp.com/support/> から入手できます。

このガイド、または『HP LCD モニター リファレンス ガイド』に記載されている情報では問題に対処できない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本での製品サポートについては、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html (英語サイト) から該当する国や地域、または言語を選択してください。

以下の作業を実行できます

- HP のサービス担当者とオンラインでチャットする

 **注記：** 特定の言語でチャット サポートを利用できない場合は、英語でご利用ください。

- サポート窓口に電子メールで問い合わせる
- サポート窓口の電話番号を調べる
- HP のサービス センターを探す

5 技術仕様

 **注記：** すべての動作仕様はコンポーネントの製造元から提供されています。動作仕様とは、HP のコンポーネントの製造元すべての、通常のレベルの動作仕様のうち最も高い仕様を表します。このため、実際の動作レベルとは異なる場合があります。

HP L6010 Retail モニター

表 5-1 仕様

LCD ディスプレイ	26.4 cm (10.4 インチ)
タイプ	TFT LCD
ピクセル ピッチ	0.0685 (縦) × 0.2055 (横) mm (0.0027 (縦) × 0.0081 (横) インチ)
水平周波数	24~83 kHz
垂直周波数	50~76 Hz
最大解像度	1024×768 (75 Hz)
画面比率	4:3
コントラスト率	1000:1 (通常)
輝度	300 nits (通常)
応答時間	25 ms (通常)
カラー ガマット	57%
表示角度 (垂直/水平、CR>10)	176 / 176
ビデオ ソース	VGA/DVI/DP
前面のコントロール	Menu (メニュー)、- (マイナス)、+ (プラス)、OK、電源ランプ
オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メイン メニュー	Brightness (輝度)、Contrast (コントラスト)、Color (色)、Image Control (イメージコントロール)、OSD Control (OSD コントロール)、Management (管理)、Language (言語)、Information (情報)、Factory Reset (工場出荷状態へリセット)、Source Control (ソース コントロール)、Exit (終了)
電源	入力電源 : DC 12 V、2 A、24 W

表 5-1 仕様 (続き)

動作条件	
温度 (動作時)	5°C~40°C (41°F~104°F)
温度 (保管時)	-20°C~60°C (-4°F~140°F)
湿度	20%~80% (結露しないこと)
動作保証高度	0~5000 メートル (16,400 フィート)
外形寸法	
幅	254.4 mm (10.0 インチ)
高さ (スタンドあり)	235.9 mm (9.3 インチ)
高さ (スタンドなし)	208.3 mm (8.2 インチ)
奥行き (スタンドあり)	167.9 mm (6.6 インチ)
奥行き (スタンドなし)	40.6 mm (1.6 インチ)
質量	
本体 (非梱包時、スタンドあり)	2.6 kg (5.7 ポンド)
本体 (非梱包時、スタンドなし)	1.6 kg (3.5 ポンド)
輸送時 (梱包時、スタンドなし)	4.3 kg (9.5 ポンド)

プリセット ディスプレイ解像度について

以下の表に示すディスプレイ解像度はこのモニターで使用される最も標準的なもので、初期設定として設定されています。モニターによってこれらのプリセット モードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

HP L6010 Retail モニター

表 5-2 工場出荷時のプリセット モード

プリセット	ピクセル フォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	640×480	31.5	59.9
2	720×400	31.5	70.1
3	800×600	37.9	60.3
4	1024×768	48.4	60.0

ユーザー モードの使用

以下のような場合、ビデオ コントローラーから送られてくる信号がプリセット モードと一致しないことがあります。

- 標準グラフィックス アダプターを使用していない場合
- 標準グラフィックス アダプターを使用しているがプリセット モードを使用していない場合

このような場合、オンスクリーン ディスプレイ メニューでモニターのパラメーターを再調整する必要があります。変更は、適用したいモードすべてに対して行うことができ、メモリに保存されます。モニターには新しい設定が自動的に保存され、これらのモードはプリセット モードと同様に自動的に認識されます。4 の出荷時プリセット モードの他に、新しく 10 種類のユーザー モードを登録して保存できます。

エネルギー セーブ機能

モニターが通常の動作モードのときは、モニターの消費電力は 18 W 未満になり、電源ランプが緑色に点灯します。

このモニターでは、省電力状態もサポートされます。水平同期信号と垂直同期信号の一方または両方が検出されない場合、モニターは省電力状態になります。このように信号が検出されない場合は、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。モニターが省電力状態になると、1 W 未満の電力しか消費されません。短時間のウォームアップ後に通常の動作モードに戻ります。

エネルギー セーブ機能の設定の手順については、コンピューターに付属の説明書を参照してください（エネルギー セーブ機能は、省電力機能、パワー マネージメント機能、節電機能など、説明書によって名称が異なる場合があります）。

 **注記：** モニターの省電力機能は、エネルギー セーブ機能を備えたコンピューターに接続されている場合にのみ有効です。

モニターのエネルギー セーブ ユーティリティ内で設定値を選択すると、事前に決めた時刻にモニターが省電力状態になるように設定することもできます。モニターのエネルギー セーブ ユーティリティによってモニターが省電力状態になると、電源ランプはオレンジ色で点滅します。